

提供日 2025/2/14

タイトル 令和6年度「ふじのくに地域づくり創造賞」表彰式を実施

担当 公益財団法人静岡県文化財団 文化事業課

連絡先 054-203-5714

静岡県文化財団

記者提供資料

## 令和6年度「ふじのくに地域づくり創造賞」表彰式を実施

～文化芸術により地域づくりに寄与する活動を行っている団体・企業を表彰～

公益財団法人静岡県文化財団は、社会課題への対応や地域資源を活かした創造的な活動を通して、「新しい価値を暮らしの中に」創造していくことが期待される活動の担い手を顕彰する『ふじのくに地域づくり創造賞』を開催しております。下記のとおり今年度の受賞者が決定するとともに、【団体・個人部門】の表彰式を2月22日（土）藤枝市民会館にて開催します。

### 1 概要

区分	内容
受賞団体	【団体・個人部門】 持塚三樹（美術家） 【企業部門】 株式会社BASE TRES（代表取締役 松本潤一郎）
受賞理由	別紙のとおり
表彰式	受賞団体表彰式を下記により開催します。 【団体・個人】 持塚三樹（美術家） 日時：令和7年2月22日（土）9:30～（予定） 場所：藤枝市民会館ロビー 当日9:00より開催する「びじゅつじょろん7 六感藝術祭」内覧会後に実施します。 （主催：藤枝市） ※【企業部門】の表彰式は後日改めて案内いたします。 ※取材いただける場合は9:00頃藤枝市民会館ロビーにお越しください。
賞の概要	・表彰の内容 団体・個人部門 1件（賞状・楯及び賞金10万円） 企業賞 1件（賞状・楯） ※令和6年度の受賞団体は、県内市町による推薦団体及び「アツカウシルしずおか」が推挙する団体の中から選ばれました。
主催	公益財団法人静岡県文化財団

### 2 お問い合わせ

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 グランシップ内

公益財団法人静岡県文化財団 文化事業課 河合

TEL:054-203-5714 / FAX:054-203-5716 / E-MAIL:info@granship.or.jp

**受賞者概要、評価項目等****<団体・個人部門> 1件**

・持塚三樹

**① 経歴等**

1974年静岡県生まれ。藤枝市を拠点に現代美術の分野で活動をしている。記憶の中にあるイメージと目の前の光景とを織り交ぜて構成する絵画や彫刻を主な作品とし、2007年からは都内のギャラリーへ所属。世界最大級のアートフェアにも出展するなど、国内外で精力的に作品発表を続けるほか、県内においては、2012年にヴァンジ彫刻庭園美術館で個展を開催し、作品が同館のパブリックコレクションに収蔵されるなど、高い評価を得ている。

**② 受賞者の活動により解決した地域課題、解決が期待される地域課題等****【地域住民の豊かな感性の育成】**

2008年頃からは、子どもなど地域住民を主体にしたアートプロジェクトを展開。焼津市や藤枝市を中心に、若手作家活躍の場の開拓、地域で気軽に芸術文化に触れられる機会づくりを目指して、芸術祭や美術展、ワークショップなどを多数開催し、文化芸術を通じた地域の魅力向上に寄与している。

**③ 地域資源を活用した活動実績、今後予定される活動**

静岡市・島田市・松崎町など他地域の行政や企業、任意団体からも、地域振興事業の企画やコンサルなどの依頼を受け、プロデュースするなど、県内でその活動範囲を広げている。

**<企業部門> 1件**

・株式会社 BASE TRES

**① 経歴等**

代表取締役・松本潤一郎。西伊豆町にて、1200年前からあった「古道」を再生・活用した「YAMABUSHI TRIALTOUR」、「カヤックフィッシングツアー」等のツアーの提供、ウッドボイラーと太陽光集熱器によって熱源の大半をまかなう宿「LODGE MONODO-聞土-」を運営。Yahoo!Japan SDGs、Vogue、コロカル、SWITCH-ONLINE、trpstr等、国内外様々なメディアに掲載されるなど注目を集めている。

グッドライフアワード実行委員会特別賞 森里川海賞（2022年・環境省）、自転車活用推進功績者表彰（2023年・国土交通省）、静岡県 SDGs ビジネスアワード 2022 優秀賞（2022年・静岡県）受賞。

**② 受賞者の活動により解決した地域課題、解決が期待される地域課題等****【地域資源の整備及び新事業への活用】**

2012年に西伊豆の山中で1200年前からある炭焼きの古道を発見し、道の再生と整備に着手し、マウンテンバイクツアーを事業化。山の観光がなかった西伊豆に地域資源を活用した新たなビジネスを生み出した。山の整備で出る木を燃料に活用する宿を上げた後、海にも目を向けカヤックフィッシングもツアーに仕立て提供している。

**③ 地域資源を活用した活動実績、今後予定される活動**

現在は、広葉樹の木を燃やした火だけでエネルギーを自給し、暖房、調理をする薪火レストランを松崎町に準備中。

**④ その他特筆すべき事項**

地域資源をただ活用するのではなく、循環を作り出すことに意識を向け、実践者として事業を生み出す姿勢は、創造力にあふれたものである。本質的な価値を見つけ活用するスタイルは、国内外問わず骨太な人たちの関心を引いており、ウォールマート創業家、ストライダー創業者といった世界的な企業などもツアー参加のため、西伊豆エリアを訪れている。